

【南九州地区納税貯蓄組合連合会会長賞】

税が担う役割

日出町立日出中学校

三年 折山 珠理

今、私が住んでいる地区では水道管の工事が行われています。工事が行われることは過去に何度もあり、当然だと思っていました。

ですが、世界には水道どころか飲料水さえ手に入れることができない人々がいることをテレビで知りました。「WATER OF AFRICA『アフリカの水』』というキャンペーンで実際に飲まれている水をそのままペットボトルに入れ、世界中で販売されています。それはコレラ、下痢、赤痢、A型肝炎、腸チフス、ポリオなどの病気を引き起こす程汚れていても飲用出来るものではありません。これらの水を飲まなければ生きられない人々もいるのです。

この様な現実を知り、きれいな水が飲めることは当然のことではないと実感しました。私たちがきれいな水を飲むことが出来ているのは「税金」のお陰でした。水道料金は私たちが支払っていますが、水道管の整備は税金で行われます。いくらきれいな水があってもそれを運ぶ水道管が無ければ意味がありません。

また、私は国立科学博物館に行ったことがあります。国立科学博物館とは一八七七年に創立された、日本で最も歴史のある博物館の一つであり、自然史・科学技術史に関する国立の唯一の総合科学博物館です。様々な分野の展示物があり、とても楽しかったのを覚えています。私はこの事がきっかけで科学がとても好きになりました。今では理科の成績が一番良い程です。国立なのでこの施設も税金で運営されています。高校生までは無料で入館できるのも驚きました。未来を担う若者達の夢と希望を育むことに大きく貢献しているのではないのでしょうか。

調べていくと身の回りにあるものかなり税金と関係していることが分かりました。警察署、消防署、学校の備品や設備、医療費の助成、道路や橋の整備など挙げればきりがありません。

この作文を書く前は税金は高く、正直無くても良いものだと思っていましたが、色々調べてうちに税金は私たちが安心して暮らす為に必要不可欠な存在だと学びました。ですが、税金に対して批判や不満の声が挙がっているのも事実です。私個人の意見としては、私に通っている学校でも行われる租税教室を様々な場所で実施し、国民がもっと税金についての理解を深めることが重要だと考えます。自分ががんばって稼いだお金がいつ、どこで、誰に、何の目的で使われているかを知ることと否定的な意見が解消されるのではないかと思います。

そして私も国民の一人であり、将来は納税をする立場になります。納税者の一人として税金の使い方を考え、より良い社会を創る為に、政治に積極的に参加していきたいです。